

2019年度（平成31年度）			
デジタル回路応用- I、II 【実習形式】			
担当	松尾 雅 純	使用教室	31 教室
実務経験	松下電器産業(株)(現パナソニック)にてガス機器商品の物作りを30年間、営業所(OBP)にて8年間、営業窓口、販売計画と促進業務を担当する。		
種 別	通年		
到達目標	タイトルに有る「デジタル回路」に留まらず「アナログ回路」も含めて電気部品を駆使した物作りを体験し、作る楽しみや喜びを楽しんでもらう。		
資格実施月	無し		
評価方法	定期考査(各期の中間、期末)の成績(70%)と平常点(出席状況、授業態度等)30%の合計点		
教科書等	教科書としては無いが、都度自前テキストのコピーを参考に支給する。		
授業計画	<p>電気回路図を見て、その機能、構造を理解してそれを一つの「物」として各部品を組み合わせて商品化させる。 オリジナリティの有る物作りで完成の喜びを体験させる。</p> <p>1、第1週から第2週 電気部品の種類とその機能、図面記号を理解させる。</p> <p>2、第3週から第4週 文献や技術資料に記載されている製作図面を見て、電気回路図を理解してその動きや働きを把握出来る様にする。</p> <p>3、第5週から第6週 自分が作りたい商品の決定。(前期は技術資料の物まね) 必要部品の選定と調達。又、各種部品の価格相場の調査。</p> <p>4、第7週から第12週 回路図に従って、工具、半田ゴテを使用して作品を作り上げる。</p> <p>5、第13週から第14週 完成した段階でその機能、性能を確認させる。</p> <p>6、第15週から第17週 上手く作動しない場合はその原因を追及して、それを修復させる。</p> <p>7、第18週 最終的に自らがオリジナリティな作品を完成させ、その喜びを体験して、電子工作を作る楽しみを味わってもらう。</p> <p>★ 期末の「学生成果発表会」に作品を展示するが、1作品/半期のペースで作品を完成させる。</p> <p>★ 部品の調達予算 半期、1作品を完成させる費用として 1500円/人 以内とする。</p> <p>当初より自作した作品を自宅にて個人使用する事を希望する時は全て、個人負担とする。</p>		

